

# 進路広報

令和2年3月6日発行  
千葉県立船橋二和高等学校  
進路指導部

## 目覚めたばかりの君たちへ

校長 平澤 憲彦

皆さんは、「人生時計」という言葉を聞いたことがありますか。

「人生時計」とは、人の一生を1周24時間（1日）の時計に置き換えて、今自分は何時にいるのかを考えてみるのです。つまり、一生をぎゅっと縮めて、夜中の0時に生を受け、翌日の夜中0時に寿命を迎えるとするのです。

昨年、厚生労働省から発表された日本人の平均寿命は、実際には、男性が81.25歳、女性は87.32歳です。計算の方法は諸説あるようですが、計算を簡単にするために、自分の意志で働ける年齢を72歳とし、「自分の年齢÷3」を計算します。例えば、働き盛りの42歳の人ならば、「 $42 \div 3 = 14$ 」で、今年度の2時、昼食を済ませ午後の仕事にちょうど励んでいる頃、ということになります。

ところで、卒業生の皆さんの場合はどうでしょう？「 $18 \div 3 = 6$ 」で、今まだ朝の6時、ちょうど学校へ行くのに目を覚ました頃、ということになります。つまり、これからまさに1日がスタートしようとしている時刻です。私には君たちが実にうらやましい。「何をしようか？ あれやって、これやって。」何だってできちゃいます。でも、ぼーっと過ごしていたら、すぐに1日は経ってしまいます。（ちなみに、私自身は、今年度の7時、1日の仕事を終え、プライベートの時間となった頃です。）

一度きりの人生、もちろん何度も悩んだり、困難にぶつかることがあると思います。そのような時、この「人生時計」の話を思い出して、「この先まだ時間は十分あるんだ。焦る必要なんてないんだ。」と、今自分がいる時間を大切にしたいと思えます。やっと思覚めたばかりの君たちの輝かしい未来に幸多かれ、と願っております。

## 日々の積み重ね

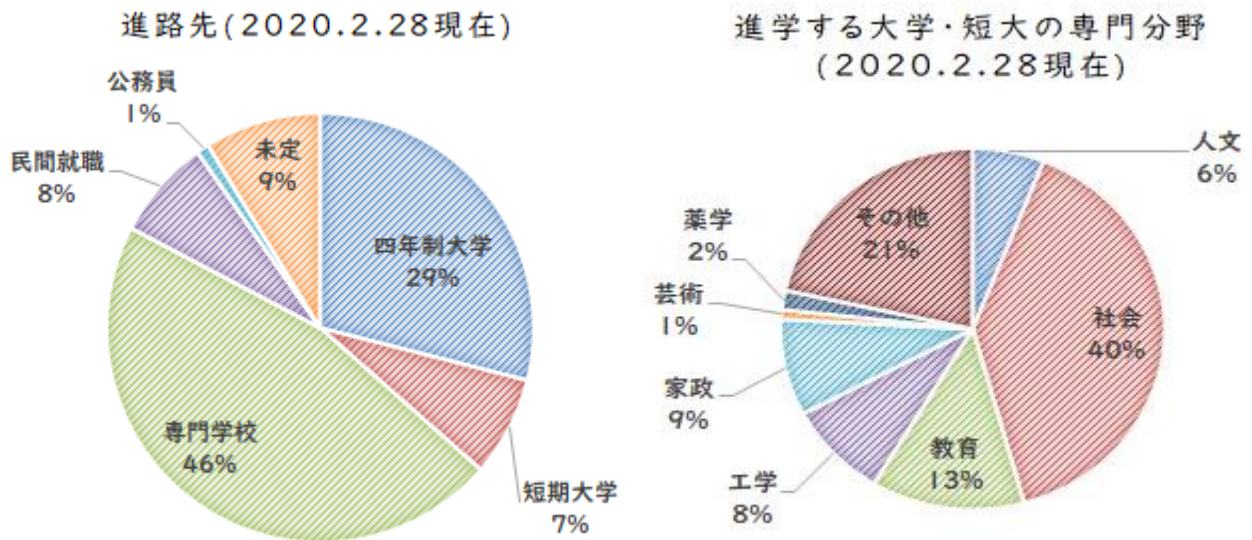
進路指導主事 中馬 丞

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。これから歩いてゆく新たな道に、胸を膨らませていると思います。

高校3年間、希望する進路を目指して精一杯頑張ったことでしょう。基礎力、応用力ともに養われたはずです。日々努力を積み重ねたからです。身につけたものは、教科の知識、文章を書く力、時事の出来事に対する興味や関心、人と話すときの言動や態度など、様々です。これらは、決して短期間で養われるものではありません。日々の努力によって実現されたものです。

卒業する3年生の皆さんは、強い意志をもって高校生活を送ったに違いありません。

1、2年生の皆さん、3年生の先輩が取り組んだ「日々の積み重ね」を実践し、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。そうすれば、必ず希望の進路が実現されるはずです。皆さんの「希望に満ちた将来」を期待しています。



令和元年度卒業生の進路状況

## 1. 3年生の進路指導

### (1)進学(大学・短大)

大学・短大進学者の入試形態(2020.2.28 現在)

単位：人

		指定校推薦	公募推薦	AO	一般	計
大学	男子	23	5	28	12 (未定含)	68
	女子	16	3	16	2 (未定含)	37
	計	39	8	44	14 (未定含)	105
短大	男子	1	0	0	0	1
	女子	13	0	10	0	23
	計	14	0	10	0	24

本年度は、令和2年2月28付で、大学進学者91名、短大進学者24名、合計115名となっています(一般受験は除く)。本年度の特徴としては、AO入試の合格者は例年通り多かったですが、3期までの募集の予定であったものが募集停止になる学校もあり注意が必要でした。センター試験は12名の受験者がいました。

指定校推薦で進学する生徒は、大学・短大合計で53名います。昨年度とほとんど変わらない人数です。合格後には大学・短大から多くの課題が出されます。指定校推薦では、受験者の客観的な学力を知るために学力検査を実施するところが多くあります。合否判定には用いないとされていますが、入学までにマスターしておきたい学習内容について、沢山の課題が出ています。もちろん、進路指導部にも連絡があります。高校の学習で指定校推薦の基準を満たしていても、学力に不十分な場合が多いと認識しておいてください。大学・短大のレベルからかけ離れている場合は、入学後の授業の理解や進級に係わることにもなります。

### 『大学・短大を受験するにあたって』

#### \* 何のために進学するのか？

毎年、何人かの生徒は、自分の成績に合うからと言う理由だけで、進学先を決めてしまっています。偶然、将来の夢に合うところなら良いのですが、入学してから自分に合っていないと分かったときはとても苦労します。中には、やめてしまう人もいます。大学・短大はそれぞれ特徴が違い、教育内容や目標も違います。大学・短大は研究をするために行くところであって、なんとなく行くところではないと認識してください。自分が何を研究したいのか、将来の希望は何か明確にしていくことが大切です。

#### \* 合格してゴールではない

近年、専門学校がAO入試を早期に行うようになった影響で、大学・短大も早期にAO入試を実施するところが出てきています。様々な進路ガイダンスや面談で将来を考えているとは言え、1学期の内に進路先を決定して本当に大丈夫でしょうか？早く決めすぎて、途中でキャンセルしたり、進学してから目標が見つけれずにやめる人もいます。一般的には夏からまずAO入試が始まり、公募推薦、指定校推薦と、早い人は2学期のはじめに進路先が決まります。決まってほっと安心でしょうか。実は間違いと言うことに多くの生徒

は気づくことが出来ていないのです。入学までにやることは山ほどあります。他校の優秀な生徒が沢山入学してくるのが現実。高校の学習内容は全てマスターしていることは当たり前で、そこから大学はスタートするのです。高校の勉強で分かっていない部分がある人は、合格後はそれに専念しなければなりません。

**\*「自然体＝合格」を目指す**

受験の間際にあわてて準備しても、付け焼き刃の態度や言葉は見抜かれます。何より、自分自身がいやになってしまうことと思います。学校生活をしっかりと送ることとともに、日常生活面で気をつけることが大切です。まず、笑顔で挨拶が出来ること、返事は大きな声で明るく、お辞儀の仕方や角度も適切に出来ることが必要です。総合学習で勉強することとは思いますが、自分でも面接の参考書などを購入して、自主的に学習していきましょう。その学習は、今のみならず、将来就職をするときや、仕事を持ったときにもつながる大切なことなのです。

**\*あなたに求められていることは何ですか。**

指定校推薦の意味はきちんと理解しておくべきです。学校の代表として行くのであり、「合格しやすいから」というのは論外です。進学した学校を卒業するまで、「指定校推薦の人」としてずっと見られますし、期待されます。たった1人でも意識の低い人がいると「二和高校はよくない」と言われてしまうのです。意識の低い生徒はどうなるかという、もちろん、進路指導部の先生に個別指導をしていただき、前向きに努力出来る生徒になってもらいます。指定校を考える前にそのような準備が出来ると良いですね。

一方、AO入試や公募推薦でも求められていることがあります。それはやはり「学力」です。日常の学習をこつこつと行うことでつけられる力は大切です。急にやろうと思ってもなかなか本当の力にはならないのです。そして、それは自分自身が将来仕事を持ったときに底力となることを自覚して努力をしましょう。今の皆さんの頑張りが、長い将来につながっていると自覚し、生活を送って欲しいです。

**(2)進路(専門学校)**

専門学校進学決定者の入試形態(2020.2.28 現在)

単位：人

	指定校推薦	公募推薦	AO	一般	計
男子	10	12	37	9	68
女子	33	13	36	1	83
計	43	25	73	10	151

本年度の専門学校進学者は151名で、全体の48%でした。専門学校も様々な学習や資格取得ができ、本校では毎年多くの生徒が進学します。なかでも、看護やリハビリテーションなどの医療系は、年々倍率が上がってきており、強く希望する学校に合格するためには、早くから対策をしていく必要があります。

また、近年医療系以外の専門学校で、早期にAO入試を実施するところが増えてきており、本当に自分に合っているかをよく吟味しなければならなくなりました。沢山の学校を見学に行き、客観的に見る力を養うことが大切です。

## 『専門学校を受験するにあたって』

### \* 焦らない

とかく、専門学校を見学に行くと、早く申し込まないと締め切ってしまうかも知れないなど、言われることが多いと聞きます。しかし、夏休みにじっくりと見学に行き、自分の長い将来も視野に入れた上で、納得出来る学校を選ぶことが大切です。夏休みからで十分間に合います。焦って、自分に合わないところを選ぶと、かえって1年を無駄にしたり、お金が無駄になったりと残念なことが起こりがちです。保護者と見学に行ったり、担任の先生に相談するなど、経験のある人の意見をしっかりと聞きながら選ぶことが、幸せにつながると感じます。ただし、10月頃から募集停止になる専門学校が数多くあったことも事実です。多くの情報を集めておかなければなりません。

### \* 専門学校は仕事と直結

入試方法は大学・短大と同じです。指定校推薦については、学校の代表として入学しますので、高い意識が求められます。また、大学・短大と異なるのは、仕事に直結していると言うことです。自分がどのように働きたいかをしっかりと考え、その上で選ぶことが大切です。自分が働きたい地域に就職できているか、資格取得の面などあらかじめ調べておくことは沢山あると思います。看護系などは、系列の病院で勤務することが条件の場合もあるので、進路の先生によく相談してください。

### \* 最後に

進学希望者に求められているのは、学校生活での努力です。部活動で活躍したか、英検、漢検等への挑戦、皆勤か皆勤に近いか、成績面等、学校生活だけでなく、将来につながることを意識して進路活動をすることがこれからの成功への道だと思います。

## 《奨学金はよく考えて》

マネーガイダンス等で経済面の人生設計をしていく機会があると思います。できれば、奨学金を使わない方が理想だと思います。しかし、どうしても必要な場合は、自分の仕事面の夢と共に、どのように経済面を管理していくかを並行して考えて行く必要があります。稀に多重に奨学金を借りて、破綻してしまう人もいと聞きます。また、奨学金を返済しなければならない者同士が結婚した場合、夫婦ともに返済金がありとても苦勞をすると専門家の方から聞いたことがあります。本当に奨学金が必要なのか、じっくりと考えて欲しいものです。もし、進学先を退学するようなことがあれば奨学金という名の借金が残ることになるのですから。

文責 片岡 淳

### (3)就職

#### ①今年度の就職状況について

令和元年度も昨年同様に多くの企業から求人があったため、就職活動はそれほど厳しい状況ではありませんでした。日本を取り囲む状況としては、米・中国を中心に様々な不確定要素も有るのですが、オリンピック開催を目前にひかえた我が国の現状は、しばらくの間は続く事が見込まれています。今年度の就職希望の生徒に対しては、2年生の春休みに船橋ハローワークで行った就職セミナーを皮切りに、夏休みまでに7回に渡る就職セミナーを行いました。夏休みには各自、1社から2社の企業見学を行い受験企業を決定し、9月から始まる就職試験に向けて準備をしていきました。今年度も文化祭と重なる9月16日が入社試験の解禁日でしたので、就職希望の生徒達は文化祭の役割と平行して受験準備をすすめて試験に臨みました。そして、さまざまな困難を乗り越えて無事全員が内定をいただく事が出来ました。今後は内定した時の感激を忘れずに、立派な社会人に成長してもらいたいと考えます。皆さんを支えてくださった保護者、そして新卒応援ハローワークのジョブサポーターの方々への感謝を忘れず、仕事を続けていってもらいたいと思います。

#### ②2019年度 学校斡旋就職の主な内定先

2020. 2. 28 現在

事業所名	職種	事業所名	職種
勝電ユニテック	事務	トヨタカローラ千葉	営業スタッフ
ステラ	営業事務	ホンダカーズ千葉	業務職
ランドロームジャパン	販売	ふなばし翔裕園	介護士
東武百貨店 船橋店	一般職	医療法人社団 晴咲会	歯科助手
ワールドストアパートナーズ	販売	中西産業	製造・販売
てらお食品	売場スタッフ	ナカノ商会	倉庫管理
フェローズ	販売営業	川島屋	パン製造

\*この他9社

#### ③1・2年生就職希望の生徒へ

企業が就職希望の高校生に求めている事は、次の3点です。

- (1) しっかり挨拶が出来る (2) 健康である (3) 基礎学力がある

まず、きちんと挨拶の出来る事が最低条件です。これは人と人とのコミュニケーションの入り口でもあります。普段から挨拶、言葉遣いや服装を整えて学校生活を送って下さい。また、健康は何よりも大切なものです。自己管理を行い、病気や怪我をしないように注意して下さい。社会に出て働くようになると、健康でいる事の大切を痛感すると思います。欠席が多いと自覚している人は、自己管理に努め遅刻・欠席を減らして下さい。さらに、外見からでは分かりませんが、基礎学力は日常の何気ない時に現れてしまいます。学力と言っても簡単な漢字や計算なので、基礎的な事を自分で復習しておいて下さい。以上3点を土台に、物事を自分で判断して失敗したら誠意を持って謝り、行動を正せる人物。また将来について具体的な展望を持っている人物。こうした人材を企業は求めています。

文責 松本 直人

## 2. 1年生の進路指導

[今年度の進路指導]

- (1) 分野別ガイダンス（1学期と2学期に実施）
- (2) 進路希望調査（1学期と2学期に実施）
- (3) 基礎力診断テスト（第1回）＋事後指導（1学期に実施）
- (4) 作文ガイダンス・作文模試（2学期に実施）
- (5) 基礎力診断テスト（第2回）＋進路適性検査＋事後指導（2学期に実施）

1学年の進路指導については、学年の重点目標である「自己理解を深め、各自の進路意識の早期確立を図る」ことを目的として取り組みました。

進路希望調査では、進路について具体的に考えている生徒も多かったようですが、自分が何に向いているかまだ分からない生徒も見られました。今年度も進学希望者の割合が多い傾向にありました。

5月の始めには、基礎力診断テストを行いました。このテストでは、自分が今どの教科のどの分野が苦手なのかを正確に把握することができ、学び直しのきっかけとなりました。今年度は基礎力診断テストと連動した課題や、基礎力診断テストの範囲を勉強できる冊子を宿題として家庭学習を行いました。

5月に行った分野別ガイダンスでは、大学・短大・専門学校・就職について、それぞれの分野の講師の方のディスカッションを聞き、より具体的に将来について考えました。

10月下旬に行った作文ガイダンスは、専門の講師を招き、入門編として基礎を学びました。5限に講義、6限に模試を行い、「今の学校生活で大切にしたいこと」または「夢を叶えるために取り組みたいこと」という課題で作文に取り組みました。大学入試や就職試験では作文が課されることが多いため、良い練習になったのではないかと思います。作文だけでなく、日常の言葉遣いについての勉強にもなっていました。

11月の分野別ガイダンスでは、いくつかの分野の中から2つを選択し、それぞれの講師の方の話を聞きました。

今年度は、進路についての講話を聞いたり、学んだことを友達と話し合ったりする機会を多く設けました。また、自主的に勉強することができる環境を整えることによって、自らの力で社会を生き抜く生徒の育成を目指しました。来年、再来年はこれらの経験を活かし、より具体的に将来について考えられればと思います。その上で、今自分のやるべきことを自主的に見つけ、実践してほしいと思います。

文責 石井 秀子

### 3. 2年生の進路指導

[今年度の進路指導]

- (1) 進路希望調査（1学期と2学期に実施）
- (2) 基礎力診断テスト（第1回）＋進路適性検査＋事後指導（1学期に実施）
- (3) 進路ガイダンス・分野別ガイダンス（1学期と2学期に実施）
- (4) 学校説明会（大学・短大・専門学校、夏期休業中に各自参加）
- (5) 推薦、AO入試説明会（2学期・希望者）
- (6) 就職指導（民間企業就職希望者対象）
- (7) 公務員試験勉強会（公務員志望生徒対象、3学期に実施）
- (8) 基礎力診断テスト（第2回）＋事後指導（3学期に実施）
- (9) 作文ガイダンス・作文模試（3学期に実施）
- (10) 実力テスト（希望者のみ、3学期に実施）

2学年の進路指導については、進路希望調査をもとに個人が向かうべき未来への選択の道しるべとなるよう、進路指導を行ってきました。

1学期と3学期には、基礎力診断テストを行いました。テストそのものだけでなく、春休みや冬休みで事前課題を利用して生徒たちの意識を高めると共に、課題の内容などを各教科で取り上げてもらい、生徒たち自身の実力をつけていきました。その成果もあり、3学期の基礎力診断テストでは、大きく成績を伸ばす生徒も多く、確実に実力が身につけてきています。

進路ガイダンスには、各学校の講師の方々を招き、多くの話をさせていただきました。生徒たちも、分野別に話が聞けたことにより、自分が目指す進路について学び、自分たちに今何が必要なのかを改めて考えることが出来ました。更に同じ分野の学校を複数招き、専門学校・大学・短大の比較検討が出来るようにしました。就職を考えている生徒には、ハローワークより面接の指導などをしていただきました。

冬休みを利用して生徒たちは作文模試の対策を行い、3学期には担任の先生方の添削指導により生徒は書く力をつけていきました。作文ガイダンス・模試では、講師の方からの「作文を書くためのポイント」の詳しい説明の後、模試に臨みました。

実力テストは希望者のみとしましたが、大学進学希望者の77名が受けました。大学進学のために必要な勉強について考え、より多くの生徒が大学という上級学校、大学入試を意識していることが分かりました。

この1年で生徒は多くのことを学び、自分の力になるものを吸収できたのではないのでしょうか。自分の思い描いた未来に向けて、高校生活の中で多くのことを学び、力をつけていてもらいたいと思います。

文責 小川原 佳美